

仕掛ける

広島経済活性化推進倶楽部理事長

山下江さん



起業家と投資家の仲人役

起業家と投資家をお見合
いさせる仲人集団——。特
定非営利活動法人（NPO
法人）の広島経済活性化推
進倶楽部（KKC、広島市）
は9年間、そんな役割を地
道に果たしてきた。広島県
外からも起業家を招いて投
資家との交流会を開いてお
り、出会いが契機となった
投資の総額は1億円を上回
る。弁護士の下江理事長
に活動の特徴や実績、今後
の抱負を聞いた。

—— 充足の経緯と活動の

内容は、
「設立は2001年。当
時は金融機関の貸し渋りで
ベンチャー企業の資金調達

個人資金、有望事業に

が難しくなっていた。そこ
で米国のようにエンジェル
（起業家を支援する個人投
資家）を増やそうと、公認
会計士の加藤新三郎氏が理
事長になって誕生した」
「06年に私が理事長にな
ってからは、起業家による
プレゼンテーションを主体



起業家のプレゼンを聞く交流会
の参加者（6月19日、広島市）

後、懇親会を
開いた。次回
は10月16日の
予定だ」
——活動の
実績は。
「設立以来、
KKCをきつ
かけとした投
資家の出資総
額は1億円を
超えた。投資
するのはほと
んどが個人。出資を受けて
定期的に開いている。プ
レゼンは面白く、あつとい
が、近いと思われる会社は
「例えば携帯電話を利用
のエネルギーを感じ、大い
に刺激を受けている。6月
19日の交流会でも4社が約
30分ずつ熱弁を振るった
00万円と、3年前のほぼ
倍となった。古着リサイク
ル店を運営するヘイブ（盛
岡市、岡本昭史社長）も、
前3月期の売り上げが約11
億6000万円と2年前の
約2・2倍になっている。
ほかにもユニークな技術、
商品をもつ企業が多い」
——広島県外の起業家を
どうやって招くのか。
「来年10周年を迎えるが、
もっとエンジェルのすそ野
を広げたい。資金不足に悩
む起業家がいる一方で、余
ったお金をタンスにしま
込んでいられる人もいる。双方
が結びつけば経済を活性化
できる。エンジェルとい
っても特別な存在ではない。
サラリーマンでもリスクを
覚悟し、なくなっても困ら
ない金額で投資すれば起業
家と夢を共有できる」
（聞き手は 広島支局長 塩田宏之）

広島

広島 082-244-1155
山 084-9332-3345